



早稲田から止める！戦争法案
安保関連法案に反対する
早稲田大学全学集会

2015年9月6日(日) 13:00 ~ 15:00

早稲田キャンパス 14号館 101教室



「9・6早稲田から止める！戦争法案 安保関連法案に反対する早稲田大学全学集会」で、時間の関係でご紹介できなかった、各大学有志の会からのメッセージをここに掲載させていただきます。

連帯メッセージの紹介

各大学有志の会から

- 東京大学 「安保法案 東京大学人緊急抗議集会・アピール
実行委員会」
- 京都大学 「自由と平和のための京大有志の会」
- 広島大学 「安保法案に反対する広島大学人有志の会」
- 首都大学東京 「自由と平和のためのアクション！首都大
有志の会」
- 明治大学 「安全保障関連法案に反対するオール明治の会」



「早稲田から止める！戦争法案 安保関連法案に反対する早稲田大学全学集会」に参加されたみなさん。「安保法案 東京大学人緊急抗議集会・アピール実行委員会」の呼びかけ人の一人として、連帯のメッセージを送ります。八月二六日「安全保障関連法案に反対する学者の会」は、全国の大学研究者1万3千余の声をもって、今参議院で審議されている安保法案の廃案を求める記者会見と国会要請を行いました。これは全国で100を超える大学で生まれている力強い運動の高まりに支えられているものです。大学人がこの法案に反対するのは、この法案の仕掛けが憲法に反したものであるからです。こうした立憲主義をなし崩しにする数の力と欺瞞に対して、知性の府たる大学人として黙止できないからです。そして法案の狙う戦争が悲惨そのものであることを、歴史的なそして世界的なひろがりにおいて理解するからです。大学が有為な学生たちを戦場に送り出す側となったのは、現実のできことなのです。こうした社会や大学を生んではならないのです。早稲田大学のみなさんの真摯な声に励まされ、私たちも明後日火曜日に緊急シンポジウムを開催します。安保関連法案の廃案を求める大学人の声として共鳴しあっていきましょう。

「安保法案 東京大学人緊急抗議集会・アピール実行委員会」の呼びかけ人の一人として
横山伊徳（東京大学教授）



「自由と平和のための京大有志の会」より、本日の集まりに連帯のメッセージを送らせていただきます。安保法制をめぐる危機は、同時に、大学の危機でもあり、日本社会全体をめぐる危機であると思います。国会で質問する議員に対してヤジを飛ばすという、前代未聞なほどに品性を欠いた首相は、論理的な筋道だった批判を怖れています。だからこそ、マスメディアと大学を黙らせようとしています。実際、グローバルな競争に向けてのラットレースに参加することを迫られている大学は、確実にその批判力を殺がれています。学問研究を通じた「社会貢献」とは何なのか？「役に立つ」研究とは何なのか？誰の、どのような「役」に立とうとしているのか？わたしたちひとりひとりが改めて自らの足もとをふりかえるとともに、わたしたちを沈黙せようとする力に対して憤りの声をあげていかねばならないと思います。戦前の「治安維持法」のような仕組の再現がまんざら杞憂とも思えない時代、わたしたちのもとに残されているなけなしの「自由」を最大限に活用したいと思います。本日の早稲田大学における集まりが、安保法制廃案に向けて大学人の知を結集し、深め、広めていく場となることを願っています。



広島大学

安保法案に反対する広島大学人有志の会は、現在の政治状況に強い危機感をもって活動する早稲田大学有志の会のみなさん、そして全国の大学関係者のみなさんとともに、安保関連法案に断固反対し、廃案に追い込むまで声をあげ続けたいと思います。最後まで連帯してがんばりましょう。



安全保障関連法案の廃案を求める早稲田大学有志の会のみなさま

わたしたち、首都大学東京の学生・院生・教職員有志は、研究と教育の自由を守り発展させていくため、そしてその土台となる平和と民主主義をこれからの時代に継承・創造していくため、「自由と平和のためにアクション！首都大有志の会」に集まりました。

安倍政権が強行しようとしている安保法制の問題性は、ますます明らかとなり、全国に反対の声が広がっています。政権に、この反対の声に真摯に耳を傾けさせるため、これからも声をあげ続けましょう。

我々は、本日の集会に際し、早稲田大学有志の会のみなさんに連帯のエールを送りたいと思います。

2015年9月6日 自由と平和のためにアクション！首都大学有志の会



本日開催の「早稲田から止める！ 戦争法案 安全関連法案に反対する早稲田大学全学集会」が盛会となりましたこと、心よりお慶び申し上げます。貴大学の全学集会に際し、連帯のメッセージを送らせて頂きます。

戦後の大学教育を振り返れば、戦後の大学教育は、かつて国家権力に迎合し、前途有為の若者を戦場に送り出したことを深く悔いて反省することから始まりました。歴史から学ぶべきことの一つは、学問の独立が失われ、学問が権力の下僕に成り下がったときに、戦争が始まるということです。

明治大学は、建学の精神として「権利自由、独立自治」を掲げ、「個人の権利や自由を認め、学問の独立を基礎として自立の精神を養う」ことを理念としています。貴大学におかれては、その前身、東京専門学校において「国を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその民を独立せしめざるを得ず。その民を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその精神を独立せしめざるを得ず。而してその精神を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその学問を独立せしめざるを得ず」とし、「学問の独立」を掲げて開校されました。表現こそ違えど、そこには通底し、共有する価値が明確にあります。

今日の安全保障関連法案をめぐる動向、「立憲主義の『存立危機事態』」に加え、大学が学問の危機、知性の危機に晒される中、貴大学との連帯をより一層、強固なものとするべく連帯のメッセージを送ります。共に一歩前へ！

安保法案に反対するオール明治の会